

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

朝倉東 高等学校

| | | |
|---|--|--|
| <p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p> | <p>持続可能な地域づくりや地域産業の活性化に主体的に関わる人材を育成する学校 (普通科)探究活動を通して、地域への愛着や誇りを醸成し、地域課題の解決に主体的に参画する姿勢を養い、新しい価値を創造する力を持った将来の地域の担い手を育成します。 (ビジネス科)アントレプレナーシップを育む教育活動を通して、ビジネスに関する専門的な知識や技術を活用し、生涯を通じて地域課題の解決に関わろうとする人材を育成します。</p> | |
| <p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p> | <p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p> | <p>(普通科)・多様な進路を実現するために、努力を継続する力の育成 ・自分に何ができるかを考え、主体的に探究していく力の育成 ・地域の課題を発見し、試行錯誤を繰り返しながら、新しい価値を創造する力の育成 (ビジネス科)・職業人として必要なアントレプレナーシップの育成 ・直面する課題の解決策を考え、その解決に向かう行動力の育成 ・新たな可能性にチャレンジしていく忍耐力や想像力の育成</p> |
| | <p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p> | <p>(普通科)・習熟度別クラス編成で苦手をなくす学習環境づくり ・個別指導でより丁寧な進路指導を実現する少人数クラスの設置 ・外部講師による出前授業 ・地域と学校で何ができるかという視点を持ち、地域課題を主体的に探究するプロジェクトチームの設置 ・地域と連携・協働して、地域の魅力を発信するイベントの開催 (ビジネス科)・高校生による「株式会社」の運営 ・地域の産業や観光の活性化に向け、地域商店街等とコラボレーションし、イベントを開催 ・職業人や大学等の外部講師による商業に関する講義・演習の実施 ・上級生による下級生へのビジネスマナー教育の開催 ・検定試験対策講座の充実</p> |
| | <p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p> | <p>(普通科)・経験がないことでも、あきらめることなく、失敗を恐れず粘り強く取り組むことができる人 ・自分とは異なる意見や価値を尊重することができる人 ・将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいと考えている人 (ビジネス科)・自分自身を成長させ、人の役に立ちたいと思っている人 ・地元を愛し、将来、地元のために活躍したいと思っている人 ・他者と協力して、さまざまな課題を解決しながら充実した高校生活を送りたいと考えている人 ・ビジネスに関する専門的な知識や技術を習得し資格取得にチャレンジしたいと考えている人</p> |

学校運営計画(4月)

| 学校運営方針 | 年度重点目標 | | 評価 (総合) |
|--|---------------------------|---|------------|
| 昨年度の成果と課題 | 年度重点目標 | 具体的目標 | |
| <p>・単元テストの導入やICT機器の活用により、学習に目標を持ち積極的に学習に取り組んだり、学習方法を調整したりする等生徒の変容が見られた。今年度は、単元テストのシステムを工夫改善することで、学びの充実を図るとともに、職員の教育力の向上を目指した各種研修を実施する。 ・進路サポーター制度では生徒の高い満足度が得られたが、職員間の情報共有や面談内容の蓄積に課題が残った。方法に関して改善し、キャリアカウンセリングの視点にたち、進路指導力をさらに向上させていく。 ・学校行事やToneProject、株式会社の取組では生徒の主体性や課題解決能力が高まった。今年度も生徒の活躍の場を多く設定し、さらに成長を促す。また、関係職員で生徒情報の共有や連携をとり、組織的に対応する。</p> | 1 これからの時代を生きるための学力の定着への取組 | (1)単元テストのシステムを工夫、改善するとともに、つながる学びの充実を図る。 | |
| | | (2)ICTの活用や探究活動を充実させ、効果的な授業を展開する。 | |
| | | (3)授業の手法や生徒指導に関する手法についてスキルアップをし、全職員の教育力を向上させるための研修会を計画的に実施する。 | |
| | 2 人間力育成に向けたキャリア教育の推進 | (1)キャリアカウンセリングの視点にたった進路指導を充実させ、生徒のキャリアデザイン力の向上を図る。 | |
| | | (2)進路指導力を向上させるとともに、生徒の社会的スキルの定着を図る。 | |
| | | (3)「ToneProject」や「株式会社EasterInc.」の活動を通して、地域や実社会に信頼され活躍できる生徒を育成する。 | |
| | | (4)中学生等に向けて本校の活動や学科の取組についてタイムリーに発信し、効果的な広報活動を実施する。 | |
| | 3 自走する生徒の育成に向けた取組 | (1)学校生活全般を通して、あらゆる場面で経験することを重視し、自ら行動し改善できる生徒を育成する。 | |
| | | (2)自他を大切にすることをもち、多様性社会を生きる生徒を育成する。 | |
| | | | |
| | | | |

様式3

| 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | 生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等 | 生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等 |
|-------|--|---|----------------------------------|----------------------------------|
| 教務課 | 生徒が主体的に学習を継続するために、従来の指導方法の見直しと新たな手法の導入により、確実に学力向上を目指す取組の推進 | 学習に計画的かつ継続して取り組ませるため、年間指導計画にもつづいた評価表・ルーブリックを作成し、授業や探究活動、評価などを組み合わせながら効果的な学習活動の実施を促す。 生徒が自らの学習到達度を確認しながら学習改善を図り、学力向上を目指すために、学年や他分掌と連携して支援体制を整える。 単元テストの実施要領やその他評価方法について、定期的に教科で協議し、目的意識を持ち充実した運用を目指す。 様々な学習ニーズに対応した学びを実現するため、教務規程の見直しを図る。 | 授業アンケート | |
| | 主体的な進路選択や将来たくましく生きる力の育成につながる取組の実践 | 「総合的な探究の時間」や各教科における探究活動をおして、知識を習得しながら興味・関心を高め、幅広い視野と明確な目的をもって進路選択する機会となるように探究活動の充実を図る。 ICT機器を活用しながら授業改善に取り組むなかで、教員の活用能力の向上とともに、生徒が将来様々な場面に応じて適切にICT機器を選択し活用することができるように指導する。 ビジネス科の教育課程を見直し、学科の特色を生かした体系的な教育活動の基礎を構築する。 | 授業アンケート | |
| | 業務の効率化を図りながら、公正かつ柔軟な業務遂行を目指す | 学年や教科とこまめに情報共有し、生徒の状況に応じ臨機応変に対応し、生徒一人一人の成長を支援する体制を構築する。 研修課やICT支援員と連携し、ソフトやアプリ、機器等の活用法を発信し、効果的な授業実施と効率良い業務遂行を推進する。 担任と教務課の連携を密にし、信頼性の高い成績・出欠管理を行う。 情報系の業務を明確にし、機器管理・データ管理を適正に行うシステムを築く。 | ICT指導力アンケート | |
| 研修課 | 各教科による研究授業、公開授業、相互授業参観を実施する。深い学びに導く授業の実践、自主性を育む教育活動に繋げる。 | 公開授業では、令和6年度担当の商業科、外国語科、地歴公民・家庭科において研究授業を実施する。知識を習得することに留まらず、知識を活用し、自ら探究する学習のある授業を実践する。 相互授業参観では、参観者は「授業評価表」を授業者に渡し、授業者へのフィードバックを行う。 | 公開授業アンケート 相互授業参観コメント | |
| | 職員のキャリアステージに応じた学びや成長を支えていくため、校内外の研修を推進する | 専門研修講座(キャリアアップ講座)や最新の教育課題をテーマとした校外研修等を紹介し、参加を促す。 日々の授業などにその成果が反映されやすく、教員自身が学びの成果を実感しやすいなど、教員の学ぶモチベーションに沿った職員研修を目指す。(年4回) 全職員がタブレット等を用いた効果的な授業や業務改善ができるよう、教務課情報係と連携しICT活用研修を実施する。(年3回) 若年教員の研修に対する意識付け資質の向上を目指し、各分掌、各教科と連携し若年教員研修を効果的に実施する。 授業アンケートを年間2回実施し、単元テストの質の向上・授業改善に繋げる。授業改善において、評価と授業の一体化を図る。 | 研修会後アンケート | |
| | 研修課の側面から働き方改革を推進する | 授業改善において、「評価と授業の一体化」を「シンプルで洗練された授業」へと繋げ、「指導時間の縮減」、「生徒の自己学習時間の増加」へ繋げる。「深い学びの実現を目的とする評価と授業の一体化」という取り組みを通じて、「生徒の学力の伸長」と「働き方改革の実現」を図る。 | ICT指導力アンケート | |
| 生徒指導課 | 学校行事や部活動等への取組を通して、生徒の自己指導能力を育成する。 | 早期に行事計画を作成し、職員同士・職員生徒間の情報共有を行う。また、行事後はアンケートを実施し、分析と反省会を行うことで確実に次年度に向けた改善策を図る。 生徒自らスケジュール管理ができるように、3ヶ月ごとの部活動計画と実績表を作成・公開する。 生徒会活動を活性化させるために、教員主導から生徒主体へと転換し、生徒が主体的に行事等に参画するシステム作りを行う。 | 行事後アンケート | |
| | 講演会・集会、委員会活動等を通して、自己の在り方を考えさせ、規範意識の向上に努める | 学期に1回、校則に関わるアンケートを実施することで、現状や意識を把握し、校則の見直しを図る。 委員会活動において、ポスター作成など行い、道徳教育の充実を図る。 生徒が安心・安全な学校生活を送れるように関係機関や地域との連携を図る。 | 校則に関わるアンケート | |
| | 生徒指導関連業務を見直し改善を図ることで、学校全体の生徒指導の円滑化を目指す | いじめや問題行動において、学年、分掌が連携を密にして組織的に対応する。 学校生活アンケートやいじめに関するアンケートの結果を全職員で共有する。 生徒指導に関する必要な情報を全職員で共有する。 | 学校生活アンケート いじめアンケート | |

様式3

| | | | | |
|-------|--|--|--|--|
| 保健環境課 | 健康管理と保健指導の充実及び保健委員会の活性化 | <p>感染症などの流行にともなう予防対策を、学校や地域の感染状況に応じて行う。</p> <p>学校医の協力のもと、各種健康診断と身体測定を実施し、事後指導を行う。また、性と心の健康相談及び各学校行事前の健康相談を実施する。</p> <p>歯科校医による歯科講演会を実施し、歯・口の健康づくりを推進する。</p> <p>外部講師を招聘し、献血セミナーを実施して希望者で献血を行う。</p> <p>「健康調査票」から配慮の必要な生徒を抽出し、必要に応じて健康相談を行い、支援体制を整える。また、生徒の健康管理や緊急時の対応の資料として活用する。配慮の必要な生徒については教育相談委員会と連携を図る。</p> <p>保健委員会で保健だよりの作成や校内放送を行うことで、健康に関する啓発活動を行う。また、手洗い場とトイレの石鹸補充を行う。</p> <p>保健委員会で体育祭・クリスマスマッチ等の学校行事での救護活動を行う。また、学校保健に関する活動と研究の推進を図る。</p> | 講演会アンケート 保健委員会活動アンケート | |
| | 清掃の徹底と美化意識の向上及び美化委員会の活性化 | <p>毎日の清掃活動に、全校生徒が率先して取り組むように指導・監督を徹底する。</p> <p>美化委員会で清掃用具の適正配置と管理に努める。</p> <p>美化委員会で校舎内外の清掃を実施する。</p> | 美化委員会活動アンケート | |
| | 教育相談の充実と特別支援の強化 | <p>教育相談委員会は学校生活アンケートやいじめアンケートの情報を共有し、いじめ問題対策委員会と連携する。また適宜外部機関と連携して適切な対応に努める。</p> <p>特別な配慮を要する生徒の対応については、教育相談委員会といじめ問題対策委員会が連携を図りながら共通理解をもって指導にあたる。また、全職員が情報共有し組織で支援できる体制を図る。</p> <p>スクールカウンセラーによる教育相談を計画的に実施する。</p> | 学校生活アンケート いじめアンケート スクールカウンセリング状況 | |
| | 防災意識の向上と防災体制の充実 | <p>各機関と連携して避難訓練や講話を実施し、生徒の防災意識と緊急災害時に必要な判断力や行動力を高める。なお、1年生については、「自立と協働を学ぶ体験活動」の中で自衛隊に指導を頂き、徹底した防災知識を身に付けさせる。</p> <p>緊急時の避難マニュアルや連絡網を作成し、防災組織を整備し、災害(火災・地震・豪雨)発生時に備える。</p> <p>定期的に校内安全点検を行う。</p> | 防災教育アンケート | |
| 進路指導課 | キャリアカウンセリングの視点に立った進路指導力の充実を図る | <p>生徒のニーズに合わせた進路相談を担任・副任だけでなく幅広く実施できるような体制づくりを行う。</p> <p>進路関係行事や取組が円滑に実施できるよう各学年等と情報共有を行い、協力体制を構築する。</p> <p>新教育課程における入試情報をはじめ進路関係の情報提供に努め、学年や教科等で適切な対策や指導ができるようにする。</p> <p>学年・学科、教科等で模試分析、志望校検討会などを実施し、教員間の情報共有と指導力向上を図る。</p> | 進路希望調査 | |
| | 生徒のキャリアデザイン力の向上及び社会的スキルの定着を図る | <p>大学見学や進路関係行事への参加を通して、進路に関わる様々な情報を自ら収集し、進路実現に向けた主体的な行動を促すために、学年に応じた進路探究課題等の明確化を図る。</p> <p>インターンシップを通じて望ましい職業観・勤労観の育成を図るとともに、社会生活で求められる適切なマナーを身に付けさせるために、事前・事後指導の充実を図る。</p> <p>キャリアパスポート等を活用し、学校生活を通してどのような力を身に付けたか、生徒自らが可視化し、工夫改善しながら行動できるように振り返りの機会を設ける。</p> <p>進路実現を目指して主体的に就職試験や入学試験に関する情報を収集し、内定や合格を目指した主体的な学習や取組ができるように、事前指導や課外等の充実を図る。</p> | 進路決定に関するアンケート (県教委) | |
| | 本校のキャリア教育に関する情報発信を充実させる | <p>進路実績等に関する最新の情報を適宜発信する。</p> <p>奨学金に関する情報をホームページにも掲載し、生徒・保護者への周知を図る。</p> <p>進路実現時や進路決定後の保護者の理解を得るため、学年等と連携し情報提供や説明会を実施する。</p> | ホームページの閲覧状況 | |
| 庶務課 | 学校とPTA・同窓会・振興会との相互間の連携と協力を深め、生徒の主体的な活動を支援する体制をつくる | <p>PTA・振興会・同窓会との連携を密にして、本校の教育活動への関心を高めるようにする。</p> <p>PTA総会・振興会総会への参加者を増やせるように、事前に十分に日程や内容を検討するとともに、感染症予防対策に努める。</p> <p>PTA新聞作成に携わり、学校内外に活動の様子を伝えるように努める。</p> | PTA総会・同窓会総会出席状況 | |
| | 式典行事の企画立案運営をし、自身と他者への配慮ができる生徒を育てる | <p>式典等が円滑に進むように、各学年や他分掌との連携を強め、実施要項を作成する。</p> <p>実施要項作成や式典前日の準備の際に参考になるような記録と資料の保存をする。</p> <p>式典行事の中において生徒自身が主体性を発揮できる場面を提供する。</p> | 行事実施後アンケート | |
| | 東高PR委員会や他分掌と連携しながら、本校の「株式会社Easter Inc.」「Tone Project」をはじめ多くの活動を本校ホームページ等で配信し、地域や近隣中学生へ本校の理解を促すよう努める。また、生徒が主体的に広報活動に努められるような場所を提供する | <p>式典等の学校ホームページ用やインスタグラム用の記事をつくり、PR活動に貢献する。</p> <p>各分掌、各委員会、「株式会社 Easter Inc.」「Tone Project」等のキャリア教育の活動を記録し配信する。</p> <p>中学校向け学校説明会等に出身中学校の生徒も極力派遣し、広報活動に貢献させる。</p> | 新入生アンケート ホームページの閲覧状況 | |

様式3

| | | | | |
|------|---|---|------------------------|--|
| 第1学年 | 道徳教育の推進 ～違いを認め、自他ともに尊重できる生徒～ | 互いを認め、尊重する雰囲気醸成するため、学校行事等の様々な場面において、生徒一人一人に役割を与え、主体的に活動できる手立てを講じる。 ルールとマナーを理解させるため、学年集会等で日常生活においてのあらゆるマナーやネットリテラシーを含む指導を定期的に行い、自分の行動を振り返る機会を作る。 安心・安全な学校を作るため、学校関係者全体で情報共有を密に行う。 | 学校生活アンケート いじめアンケート | |
| | 自己管理能力の育成 ～当たり前基準を高く持つことのできる生徒～ | 自分の行動と時間をデザインさせ、学習スタイルや基本的な生活リズムを確立させる。 「笑顔で」挨拶、「気持ちの良い」言葉遣い、「隅々まで」清掃を推進する。 校則の意義を理解させ、遵守させる。指導が必要な場合は、その場での指導を徹底する。 事前連絡を徹底させ、安易な遅刻や欠席を許さない雰囲気作りを行う。 | 新入生アンケート 学校満足度アンケート | |
| | 理想進路の追求 ～限界を決めずにチャレンジできる生徒～ | 進路に関しての情報を適宜提供することで、知識をインプットさせる。 教科と連携を取り、各種検定試験にチャレンジさせる。 進路に関する意識を向上させるため、卒業生や講師を招いて講演会を行う。 | 資格取得状況 | |
| 第2学年 | 主体的・持続的に学習に取り組む姿勢を身に付けるために、自己流の学習スタイルを確立させる | チャイム席の遵守、授業の開始・終了時の挨拶や教材の整理整頓を徹底させ規律ある態度で授業に臨ませる。 学習と部活動などの課外活動の両立を図るために、基本的な生活リズムを確立させる。 各教科と連携して課題の提出状況を把握し、家庭学習の習慣化を支援する。 日々の学習時間を記録させ、学習への取り組みを振り返らせるとともに、他人の学習を参考にすることによって自らの学習を省みて、改善させる。 | 学習時間調査 | |
| | 自分の日常生活・学校生活とキャリアプランとのつながりについて考えさせ、様々な選択肢の中から進路目標を決定するための体制を作る | 事前学習をはじめとした修学旅行での一連の学習・実地体験を通して社会への視野を広げ、自分の進路について考えを深めさせる。 定期的に進路についての二者面談を実施し、どの時期にどの程度希望を固めておくべきかを明確に示し、進路選択のために今やるべきことを明確に決めさせる。 株式会社やToneProjectをはじめとした課外活動等での学びを自分の将来像に繋げ、キャリアデザイン力の向上を図る。 | 進路希望調査 | |
| | 修学旅行や各種学校行事の中で中核学年として規範意識を高く持ち、他人に手を差し伸べることのできる生徒を育成する | 挨拶と正しい言葉遣い、礼儀正しい行動を心がけさせ、学校外でも通用するコミュニケーション能力を身に付けさせる。 授業や学校行事、部活動等、様々な活動の中で成功と失敗を経験することで、自分の行動を見直し、次につながる振り返りの機会を作る。 家庭との情報共有やスクールカウンセリングと連携し、日頃から生徒を注意深く観察することで些細な変化に気づき、いじめを見逃さない許さない環境作りを行う。 | 学校生活アンケート いじめアンケート | |
| 第3学年 | 日頃の授業や単元テスト、資格取得などをおとし、これからの時代を生きるための学力を身に付け、自己の目標に向かって努力ができる生徒を育成する | 第一希望の進路先に合格することを目標とし、一般選抜や進学後の学習に通用する学力をつけるために授業や家庭学習に取り組ませ、学力向上を図る。 進路指導部や各教科、他学年と連携し、進路別課外や小論文指導を実施し学力向上を目指すとともに、面接指導を行うことで表現力を養う。 自らの課題に気づかせ、進路希望に応じた自発的な学習を促し、進路決定へ向けて積極的に取り組む姿勢を醸成する。 随時、個人面談を行うことで生徒の希望進路を詳細に把握し、適切な進路情報の提供と課題解決に向けた効果的なアドバイスをを行う。 | 就職率・進学率 | |
| | 最高学年としての自覚を持たせ、「東高ブランド」のバージョンアップに向けて、学校行事や部活動、株式会社の運営などに取り組ませ、地域の活性化に主体的に関わる生徒を育成する | 「東高ブランド」をバージョンアップさせるために、学校の中心となってリーダーシップを発揮できるように、様々な場面で指導する。 体育祭や文化祭などの学校行事に学年全体で団結・協力して取り組み、豊かな人間性を育み、一生の思い出となるように行事を充実させる。 生徒が主体となって学校行事を企画したり、株式会社の運営や生徒会活動を行ったりするなかで、他者と協働してコミュニケーション能力を培い社会人としての良識を身に付ける。 学校生活のあらゆる場面において、他者を大切にすることで心掛ける。 | 行事後アンケート 学校満足度アンケート | |
| | 自他を大切に思いやりの心を持ち、多様性を認め、安心安全に学校生活を送ることができる学年及び学級をつくる | 正しい言葉遣い、端正な制服の着こなし、礼儀を身に付けさせ、自分自身で「場」に相応しい適切な行動をとることができるように学年集会やホームルーム活動などで指導する。 生徒のSOSを見逃さないように、常に生徒に気を配ると共に、学校生活アンケートやいじめアンケートを分析し、いじめを生まない、見逃さない環境・雰囲気づくりを行う。 | 学校生活アンケート いじめアンケート | |

様式3

| | | | | |
|--|---|---|----------------|--|
| 普通科 | 生徒の理想進路の確立と実現 | 大学や検定試験の情報提供を行う等、理想進路の確立に向け、各教科・学年と連携し、教育的支援を実施する。 | 進学率 | |
| | | 各種検定試験上位級合格者5名以上を目指す。(1年次→準2級、2年次→2級) | | |
| | | 文理選択や進路決定の一助とするため、他学年との懇談会を実施する。 | | |
| | | 進路指導課と連携し、模擬試験の対策・分析を行い、生徒へフィードバックする。 | | |
| 普通科の特色【Tone Project等】をバージョンアップさせる | 吉本興行とのコラボ企画を長期的な取組とするため、更なる商品を開発する。 | 学校満足度アンケート | | |
| | 探究活動や地域貢献活動等の外部コンテストに出場し、受賞を目指す。 | | | |
| | 学校ホームページやInstagramを活用し、広報活動を積極的に行う。 | | | |
| 商業科 | 学習意欲の向上及び定着を図ると共に系列の特色に応じた希望進路実現を目指す | 担当者間で連携し計画的に単元テストを実施することで、家庭学習習慣の定着や基礎学力の向上につなげる。 | 資格取得状況 | |
| | | 学習評価における課題や成果を共有し、授業改善や生徒の学習意欲の向上に努める。 | | |
| | | 全商協会主催検定試験等への積極的な受験を推奨し、3種目以上1級合格者15名以上を実現する。また、取得した資格や学習活動を生かし、総合型をはじめとする様々な受験型を活用した進路指導を行う。 | | |
| | 職業人として必要な倫理観・職業観を育成すると共に心豊かな人間性の育成に努める | 職業人や大学等の外部講師による講義や演習の実施を通して、実社会において求められる主体性や様々な知識・技術の習得を目指す。 | 事後アンケート | |
| | | 上級生による下級生へのビジネスマナー教育等を実施し、職業人として必要な主体性及び積極性及び豊かな人間性を育成する。 | | |
| | 株式会社Easter Inc. の活動を通して、地域社会と連携し、地域経済の活性化に寄与しようとする人材の育成に努める | 地域との連携において、地域イベントの企画・運営や出店を行い、SNSを活用し、ビジネス科の特色や魅力をタイムリーに発信する。 | 株式会社活動前・後アンケート | |
| 地元企業との連携を図り、商品開発における取組を充実させ、本校の魅力をPRする。 | | | | |
| 地域との連携において、観光ビジネス分野についての学習を進めることで地域社会が有する課題や魅力に着目した探究的な学びの実現を図る。 ビジネス科の各系列の学習内容や特色を活かし、学年ごとの連携をとり、生徒が主体的に活動できるような運営を行う。 | | | | |